

衆院選公示 東北は問う ・被災地 失望と期待

●【復興】 五輪で歩み遅れた

「東日本大震災から3年半たっても、この程度かと思うくらい沿岸部では復興が進んでいないところが多い。東京五輪の施設整備で物資や人材が中央に取られて、復興の歩みを遅らせてしまっている。安定した職もなく消費税増税による生活苦で、仮設住宅から出られない人も少なくない。被災地の経済を回復させる人を選びたい。(一関市・Oさん・43歳・印刷業)

●「消費税」 首相判断ごまかし

安倍晋三首相は消費税増税を2017年に先送りしたことで、いずれ増税するという根本的な問題を覆い隠し、総選挙に打って出たように感じる。年金暮らしの立場では消費税が8%に上がり、日々の食費を切り詰めなくてはいけなくなった。そもそも庶民に10%を負担させるべきでないと言い切る政党に期待する。(花巻市・Oさん・77歳・無職)

●【集団的自衛権】 解釈変更は乱暴だ

集団的自衛権について国民的な議論も理解も不十分な中、閣議決定による憲法解釈変更で行使を容認した安倍政権は非常に乱暴だ。衆院選ではアベノミクスの是非だけを論じ、争点から隠している。日本が戦争に巻き込まれる恐れがあり、若い世代として、3歳の息子がいる身として閣議決定の撤回を訴える候補を応援する。(八戸市・Fさん・34歳・会社員)

●【原発】 福島へ押し付けか

核廃棄物の最終処分場の問題を真剣に議論してほしい。使用済み核燃料や除染廃棄物、福島第1原発のがれきをどこで処分するのか。栃木のある首長らは原発事故で発生した指定廃棄物を福島に集約しろと言っているが、押し付けで問題は解決しない。後始末を考えず原発の再稼働を進める候補、政党には投票したくない。(須賀川市・Mさん・74歳・無職)

●【農業】 飼料高 経営を圧迫

酪農を営んでいるが、円安で飼料価格が上がり経営を圧迫している。減収で生産意欲が落ち、商品化しやすい肉牛に転換する酪農家も出てきた。原料の生乳が減ったことで店頭ではバターが品薄状態だ。ことしは米価も大きく下落し落胆した。政治にあまり期待できずにいるが、農業を真剣に考える候補に投票する。(宮城県大和町・Sさん・49歳・農業)」「(河北新報)14年12月3日付け)

一年間「気仙沼通信」を読んでいただき、有難うございます。

新年、年賀状はかつあいさせて頂きます。「気仙沼通信」新年号で会いしましょう。

来年が、皆さんと被災者にとっても、良い年でありますように！

【復興はまだ始まったばかり (岩手県山田町)】



【庶民の生活防衛 5%割引で混雑する イオン気仙沼店】

